

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法

科目コード : 120329

地域ケアシステム論 Community Health Care System

担当教員	織田 初江				
実務経験					
開講年次	2年次後期	単位数	1	授業形態	講義・演習
必修・選択	必修	時間数	15		
Keywords	エンパワーメント、ヘルスプロモーション、システム、ケアシステム、ソーシャルサポート、ネットワーク、法律と社会システム、共同と協働、資源開発				
学習目的・目標	【目的】 システム理論、ケアシステム論、ソーシャルサポート論などについて概説し、在宅療養者やその家族等、地域ケアシステムを必要とする健康問題への考察を通して地域ケアシステムの意義や構築手法について学ぶ。また、事例等を通して、ケアシステムの現状と課題、住民とのネットワークや共同活動の重要性、資源開発等の手法について学び、看護職の役割について考察を深める。【目標】 1. 地域ケアシステムを必要とする健康問題について理解し、健康的な生活を保障するケアシステムの必要性について考察する。システムについて概説し地域ケアシステムの目的、意義について考える。2. 実践例等を基に地域ケアシステムの構築に必要な手法を学び、ケアシステムにおける看護職の役割を理解する。3. 様々な問題領域の事例を基に、地域におけるケアシステムの現状と課題、看護職の役割について考察を深める。4. 演習を通して、将来、地域ケアシステムづくりの看護スペシャリストとして活躍するために必要な専門的知識・技術を学ぶ。				
授業計画・内容					
回	内容				
1	1. 地域ケアシステムを必要とする健康問題・地域ケアシステムの目的と意義 2. 地域ケアシステム構築のための理論と手法 (1) ソーシャルサポート論・ケアシステム論 (2) ケアシステムと資源・法令 (3) エンパワーメントとヘルスプロモーション (4) 地域の組織化とネットワークの構築				
2	3. 地域におけるケアシステム構築の理論と実際 ー地域における感染症ケアシステムの現状と課題ー				
3~7	4. 地域におけるケアシステム構築の手法 演習（認知症高齢者への地域ケアシステム構築の手法；事例を基にグループワークおよび全体討議） / レポート作成				
8	「まとめ」 / 課題レポート「地域におけるケアシステムの現状と課題」				
教科書	授業開始時及び講義進行に合わせて適宜紹介する。				
参考図書等	木下由美子編集代表：Essentials 地域看護学 医歯薬出版 2013年 授業開始時及び講義進行に合わせて適宜紹介する。				
評価指標	平常考査（出席と授業への参加姿勢）（30%）および課題レポート（70%）により、理論と現状との統合能力、思考方法や創造性等の評価を行う。また、課題レポートでは、課題追求の姿勢や科学性、基本的知識の獲得状況や学習課題への洞察の深まり方を併せて評価する。				
関連科目	哲学、法と社会、社会福祉論、家族社会学、保健医療福祉論、医療経済学、人間工学、疫学、公衆衛生学、健康環境論、精神保健論、地域看護学概論、地域看護診断・援助論、家族看護論、在宅看護学概論、コミュニティ政策形成論、地域看護方法論Ⅰ・Ⅱ、地域看護学実習、他				
教員から学生へのメッセージ	様々な健康課題を抱える対象が、住み慣れた地域での健康生活を営むことができるようなケアシステムづくりという観点から、看護職としてどのような専門能力を発揮できるか考えながら学んでいきましょう。				